

図書館だより

2013 2月

今月の行事

- ◆ 芭蕉と良寛の勉強会 13日(水曜日) 午前9時半～ 2階 講習室にて
(*第2火曜日が休館のため翌日となります。)
- ◇ おはなしの会 毎週土曜日 午前11時～ えほんコーナーにて

今年は、新しいこと
挑戦してみませんか?

朗読講座 (全2回)

2月28日(木)・3月7日(木) 午後1時30分から(2時間程度)

市立須坂図書館 2階講習室にて

講師 小田切真佐子氏

申込 2月19日までに須坂図書館までご連絡ください(定員20名)

TEL 026(245)0784 *開館中のみ



朗読ボランティア、読み聞かせの活動に活かしたい方はもちろん、イントネーションや話し方の基本を学びたい方にもおすすめ。初心者を対象に朗読を基礎から学びます。

第148回芥川賞・直木賞

第148回の芥川賞受賞者は史上最年長、直木賞受賞者は戦後最年少という珍しい回になりました。

芥川賞~~~~~

直木賞~~~~~

【受賞作】『ab さんご』黒田夏子(文藝春秋)

【受賞作】『何者』朝井リョウ(新潮社)

『獅子渡り鼻』小野正嗣(講談社)

【受賞作】『等伯 上下』安部龍太郎(日本経済新聞出版)

『関東平野』北野道夫(「文學界」2012/9)

『空飛ぶ広報室』有川浩(幻冬舎)

『肉骨茶』高尾長良(「新潮」2012/11)

『春はそこまで』志川節子(文藝春秋)

『美味しいシャワーヘッド』舞城王太郎(「新潮」2012/8)

『ふくわらい』西加奈子(朝日新聞出版)

ドラマ化小説

1月から始まった新ドラマ。皆さんご覧になっているものはあるでしょうか? 原作と比べるのもおもしろいですよ!

【あぼやん】⇒『あぼやん』『恋する空港』

新野剛志著(文藝春秋)F/シ

【ハンチョウ】⇒『烈日』『夕暴雨』ほか

今野敏著(角川春樹事務所)F/コン

【ビブリア古書堂の事件手帖】

【書店員ミチルの身の上話】⇒『身の上話』佐藤正午著(光文社)F/サ

⇒『ビブリア古書堂の事件手帖1~3』三上延著(アスキーメディアワークス)BF/ミカ

【いつか陽のあたる場所で】⇒『いつか陽のあたる場所で』ほか 乃南アサ著(新潮社)F/ナ

【カラマーゾフの兄弟】⇒『カラマーゾフの兄弟』ドストエフスキー著(河出世界文学大系 908/56/39-40 ほか)

【とんび】⇒『とんび』重松清著(角川書店)F/シゲ

【まほろ駅前番外地】⇒『まほろ駅前番外地』

三浦しをん著(文藝春秋)F/ミウ

【夜行観覧車】⇒『夜行観覧車』湊かなえ著(双葉社)F/ミナ

一般向け新刊案内2月

小説

<p>我、涙してうずくまり [丸山健二] 存在の悲しみに膝を屈し、孤絶と諦念に生きる中年の「私」。その静かすぎる日常に、不思議な裂け目となって襲い掛かるさまざまな死。生死の交錯の果てに待ち受けるものは―。(岩波書店)</p>	<p>幸 [香納諒一] 一生ヒラ刑事と定められた男・寺沢恒彦と、シングルマザーになる道を選んだ妊娠中の女刑事・一ノ瀬明子がコンビを組んだ。過去と現在が絡み合う殺人事件が2人に突きつけるものとは。(角川春樹事務所)</p>	
<p>生存者ゼロ [安生正] 北海道の石油掘削基地で、職員全員が無残な死体で発見された。陸上自衛官三等陸佐の廻田と感染症学者の富樫博士らは政府から被害拡大阻止を命じられ―。[このミステリーがすごい! 大賞] (宝島社)</p>	<p>孤独な放火魔 [夏樹静子] 裁判はいつも、無数の人生を浮き彫りにする…。現代の日本を象徴するかのような3つの事件について、悩み議論する裁判員たちをリアルに描く。表題作ほか3作を収録。(文藝春秋)</p>	
《書名》	《著者名》	《出版社》
ガッツン!	伊集院 静	双葉社
笑うハーレキン	道尾 秀介	中央公論社
三匹のかいじゅう	椎 名 誠	集英社
夜の底は柔らかな幻 上下	恩 田 陸	文藝春秋
あい 永遠に在り	高 田 郁	角川春樹事務所

その他

《書名》	《著者名》	《ジャンル》
水族館で珍に会う	中 村 元	動物学
まり子の「ねむの木」45年	宮 城 まり子	福祉
小田切新太郎 社長の器	金 児 昭	経営
リンゴの歩んだ道	富 士 田 金 輔	農業
長寿一位の長野県式減塩ごはん	長野県栄養士会	料理
散歩	小 林 聡 美	随筆

大活字本

《書名》	《著者名》	《書名》	《著者名》
間宮林蔵 上中下	吉 村 昭	大盗の夜 上下	澤田ふじ子
四文字の殺意 上下	夏 樹 静 子	素行調査官 上中下	笹本稜平
獅子の系譜 上中下	津 本 陽	司馬さんは夢の中 上下	福田みどり

貸出し中の場合は予約ができます

* 予約多数の場合、お時間がかかりますのでご了承ください。